

指定管理業務評価結果書

1 施設の名称等

(1) 公の施設の名称	老人福祉センター 倉敷市船穂町高齢者福祉センター
(2) 指定管理者	所在地 倉敷市笹沖180 名称 社会福祉法人倉敷市社会福祉協議会 代表者 会長 中 桐 泰
(3) 公の施設の所管部署	健康福祉部健康長寿課
(4) 評価対象期間	令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

2 総合評価結果

(1) 市の評価	<p>・令和3年2月4日に実施した立入監査の結果、良好な管理運営がなされていることが確認できた。</p> <p>・令和3年3月に実施したアンケート調査の結果、現行の指定管理者は、利用者から好感を持って受け入れられていることが確認できた。</p> <p>・令和2年度は、新型コロナウイルス感染症対策として、施設の臨時休館や利用制限等を行ったことにより、利用者数が大幅に減少（前年度比55.8%）したものの、日々の施設管理においては、利用者の安全を第一に考え、マスク着用や三密回避等の基本的な感染対策に加え、入館時の検温、利用者名簿作成、アクリル板設置、部屋の人数制限、共有スペース・物品の消毒、大きな声を出す活動の制限等に取り組んでおり評価できる。</p> <p>・以上の点から、評価対象期間において、社会福祉法人倉敷市社会福祉協議会は適切に指定管理業務を遂行したと判断する。</p>	総合評価
		S

<p>(2) 指定管理者の自己評価</p>	<p>令和2年度の管理運営においては、60歳以上の高齢者の方々の健康や生きがいづくりのために、講座の開催や同好会などの利用者増に努めましたが、利用者数は昨年度より延べ4473人と大幅な減少となりました。減少の要因は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、4月及び5月の講座を中止したことや、1月以降、歌や楽器を吹いて演奏する「アコーディオンで楽しく」と「オカリナ」の活動を自粛したことをはじめ、各同好会が自主的に活動を縮小したり、人数を制限したことによります。</p> <p>さらに、社協の行事や高齢者支援センターの講演会、福祉講座等についても、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、ほとんど開催ができない状況でした。また講座や同好会等の当センター利用者の発表の場として毎年開催している「ふれあい芸能祭」についても、開催を断念いたしました。今後もより多くの方が親しみをもって当センターを利用してくださるよう利用者本位の運営に努めていきます。</p> <p>また、ゲートボール場の利用は延べ1,289人で、前年度に比べ延べ127人の利用者増となりました。これは当センターが、雨天での使用が可能なためと考えています。今後も利用者増を図るため、新たに未経験者を対象にゲートボールの体験教室の開催、ゲートボールチームへの積極的なPRや休日利用等の利用日の便宜を図り、施設の整備等に努めていきたいと考えています。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の終息が見えないことから、令和3年度も利用者数の増加は見込めない状況ですが、市からの通知等に注視しながら、利用者数の回復を図ってまいります。</p> <p>なお、ウイルス対策として、毎日、手すり・ドアノブや施設利用後の各部屋の備品等などの塩素消毒及び利用者の手指のアルコール消毒・体温の計測を行っております。さらに利用者が密集状態にならないように机などの配置は間隔を空け設置、離れて座るよう指導、マスクの着用、手洗いやうがいの啓発ポスターを掲示するなど、感染が拡大しないよう注意を促しています。</p> <p>施設の維持管理については、当センターが平成6年に設置されて以来27年が経過し、浄化槽、空調機、照明器具など経年劣化による故障・不具合や太陽光パネル配管修理、浄化槽送水</p>
-----------------------	---

	<p>ポンプ取替修繕、ロビー天井改修修繕など当初予算 114万3千円の中でほぼやりくりしました。なお、太陽光パネル配管修理(足場含む)や浄化槽排水管敷設工事については見積金額が20万円を超えたため、市へ協議した結果、市で修繕をして頂きました。しかし、新たに非常用電源装置のラジエーターの液漏れやポンプ室のスプリンクラー用水槽の水漏れが判明し、これについても多額の費用が掛かることが予想されるため、市と相談しながら、修繕する予定にしています。</p> <p>今後も管理運営に関する基本的な考え方に基づいて、業務を推進していきたいと考えています。</p>
(3) アンケート結果の概要	<p>アンケート調査の結果、利用者の満足度は、施設全体は100%、職員対応は98%、施設の衛生管理は98%以上、安全対策は98%以上となった。よって、現在の指定管理者は、多くの利用者から好感を持って受け入れられていることが分かった。</p>

2 施設の利用状況

(1) 利用者数	利用者数		特記事項
	今年度	前年度	
(2) 事業の内容	<p>5,657人</p> <p>10,130人</p>		
	<p>(1) センターの使用許可に関する事務 (2) センターの維持管理に関する業務 (3) 老人の生活、住宅、身上等に関する相談ならびに指導業務 (4) 老人の疾病の予防、治療に関する相談ならびに指導業務 (5) 老人の生業および就労等の指導業務 (6) 老人の後退機能の回復訓練ならびに指導業務 (7) 老人の教養の向上およびレクリエーション等の事業 (8) センターの利用者の利便性を向上させるために必要な業務</p>		

3 収支（見込み）

(1) 収入 (指定管理者の収入)	総額	19,627千円
	市からの指定管理料	19,391千円
	その他収入	236千円
(2) 支出 (指定管理者の支出)	総額	18,689千円
	主な支出 人件費	8,227千円
	光熱水費	1,658千円
	修繕費	1,144千円
	業務委託費	5,290千円
	その他	2,370千円